

先生方の指導で充実した武石となりました

本日の朝会でもお話しましたが、5年生が武石で確かな学びをしてくれました。今回は、先生方の指導で私が感動した点をお伝えします。

慎一先生は、このミッションの担当として、用意周到に計画を練られました。実施に当たり、いつも管理職に細かい報告、連絡、相談をしてくださいました。現地では、常に冷静かつ緻密な判断や対応力で活動がスムーズに進みました。全体指示が簡潔です。話を聞く姿勢が身に付いているのは、慎一先生の話し方がわかりやすいからです。心を動かす、しびれるような一言で見違えるように動く様子に感心しました。まるで魔法使いのようでした。

美保先生は、慎一先生の補佐として、包み込むような役割を演じてくださいました。慎一先生が動きやすいように、いつも一歩引いたさりげない気配りは、まるでお姉さんのようでした。どんな時でも笑顔を絶やさずに振る舞われるので、どれほど慎一先生は心強かったことでしょうか。子供たちへの声かけは、お母さんそのもの。特に宿泊がはじめての子供たちは、この上ない安心感をもって過ごせたことでしょうか。

石井先生は、堅実、確実に責任感をもって引率の仕事を着実に果たされました。優しさと厳しさのバランスが取れているので、子供たちは指示を聞いて、てきぱきと行動していました。全体の動きを考え、ご自身の担当ではないところをフォローしてくださる「辛いところに手が届く」存在でした。

移動教室でこれだけの充実した指導員スタッフを見たことがありません。特に、小川さん山川さんのお二人は、宿泊指導の経験が豊富で安全管理の専門でもあります。まさに担任級の活躍をしてくださいました。松井さんは初めての指導員としての参加でしたが、若さ溢れるお仕事ぶりでした。先輩お二人の動きを見て、みるみる成長する姿を頼もしく思いました。

3日間病気やけががなく終えられたのは、なんとか言ってもベテランの看護師さんのおかげです。保健だけではなくカウンセリングマインドに長けた看護師さんがいてくださったことに感謝いたします。カメラマンさんも全体の行程を最優先にして、時にはわれわれの仕事にもご協力をしてくださいました。この3日間一番走られたのはカメラマンでした。

この3日間を通して一番感じたのは、私が日々お伝えをしている特別支援教育の視点に満ち溢れていた行事であったということです。全ての児童の実態や発達に照らし合わせ、心根に寄り添おうとする先生方のご姿勢に心が熱くなりました。私もたくさんのことを学びました。本当にありがとうございました。

引率をされた3名の先生方には、調整時間がつきます。疲労の回復が目的ですので、夏休みに回らないように学校全体で配慮をしてくださいますよう、ご協力をお願い致します。わたしも率先して補教に入ります。